

兵庫県版 日本の息吹



《兵庫県本部

第二十回総会・記念講演会》

令和元年七月一五日（月）、ホテルニューアワジプラザ淡路島にて、一四時より総会、一五時より記念講演会、一六時三〇より懇親会が行われた。

朝八時、湊川神社（神戸市）正門前に集合、各自、拝殿にて参拝の後、九時にバスにて伊弉諾神宮（淡路市）に向けて出発。

伊弉諾神宮では、正式参拝の後記念撮影。（正式参拝中の写真撮影は差し控えましたのでありません。）昨日の天候とは異なり雲一つ無い晴天。これも大楠公・小楠公、伊弉諾尊・伊弉冉尊の思し召しと、参加者の皆様、淡路島会場スタッフの皆様の日頃の敬神生活の賜物と思いつつ、若人の広場に向け出発。

バスの中では淡路島スタッフ準備のお弁当を戴いた。「これなかなか美味しいよね、伊弉諾神宮入りのお弁当屋さん？」などの言葉が弾む中、バスは若人の広場に到着。広場

版 第二四号 令和元年八月（皇紀二六七九年）
八月二五日発行 日本会議兵庫県本部事務局
六五〇・〇〇一五 神戸市中央区多聞通三・一・一
兵庫県神社庁内（〇七八・三四一・一一四五）
HP <https://www.nipponkaigihyogo.org/>
メール nipponkaigihyogo@gmail.com



は祖国日本をお守り下さった戦没学徒の皆様をお祭りする場所。皆で献花の後、目的地である会場（ホテルニューアワジプラザ淡路島）に向け出発した。因みに、この広場は毎年一〇月になると「戦歿学徒追悼祭」が行われ、知事や市町の首長、陸・海・空自衛官、各種団体などの参列者で埋め尽くします。



《 8月25日以降の日本会議兵庫関連団体の主な催物 》

- 9月 7日（土）中・西播磨支部学習会「中性」（後醍醐天皇）三木 英一 先生
- 10月 12日（土）中・西播磨支部学習会「近代」（後水尾天皇）中島 剛 先生
- 11月 23日（祝）天皇陛下の御在位をお祝いする県民の集い
- 12月 8日（日）日本会議兵庫 神戸支部第3回総会 湊川神社
（第2部 講演会 江崎 道朗 先生 演題（未））
- 12月 14日（土）中・西播磨支部学習会「近現代」（大正・昭和）土肥 清明 先生

*未決定箇所については、決定でき次第お知らせ致します。



《総会》

一四時からの総会では、開会の辞、国旗儀礼、国歌斉唱、皇居遙拝、黙禱、日本会議綱領唱和、主催者代表挨拶（三木英一日本会議兵庫会長）、来賓紹介、来賓挨拶（山本敏信兵庫県議会議員、垣田宗彦兵庫県神社庁庁長、永田秀一兵庫県議会議員）、祝電披露・掲示案内、報告並びに議事、宣言文採択、聖寿萬歳、閉会の辞と続いた。

特に令和元年度県本部活動方針の内容は研ぎの通り。

一、世界に冠たる皇統を戴くことの意義を恢弘する。

二、憲法改正を目指す。

三、領土領海保全の運動を積極的に推進する。

四、外国人地方参政権付与、選択的夫婦別姓、人権委員会設置等の動きを注視し、その立法化を阻止する運動を断固推進する。



五、教育基本法の主旨徹底とこの理念の実現を目指し、教育正常化と日本的感性を育む活動を展開する。

六、日本の文化・伝統に則った憲法、国防、教育、その他の時局に関する研修会を開催し、国民世論の啓発を図る。

七、時局への即応体制を整えるための運動情報ネットワークの構築、充実を図る。

八、県下各地区に支部を結成し、女性の会と共に運動を推進するとともに、会員組織の拡充を図り、組力の増強を進める。

九、日本会議の活動を継承する次世代の育成を進める。

《記念講演会》

次に、三時からの講演会では、元宮内庁掌典職掌典次長山田 蓉様より『御代替りと宮中祭祀』と題してご講演いた

いただきました。概要は次の通りです。
讓位・踐祚については、三種の神器のうち、特に八咫鏡と天叢雲劍の継承について、具体的なお祈りの場所・理由の変遷を記紀の記述を中心に解説戴きました。また、宮中では御神鏡（八咫鏡の写し）が内掌典によって日々お世話されていることもお教え戴きました。

新嘗祭と大嘗祭の相違点については、大嘗祭での悠紀・主基、特に卜定から登極令までの悠紀国・主基国の選定方法の変遷、悠紀殿・主基殿での現在の様子、淡路国との関わりなどを解説戴きました。

二点を合わせて僅か一時間一〇分の中で平易にご解説賜り、約二五〇名の出席者の中には、熱心にメモをとる方も多く見受けられました。

（事務局 栗原 宗純 記）

